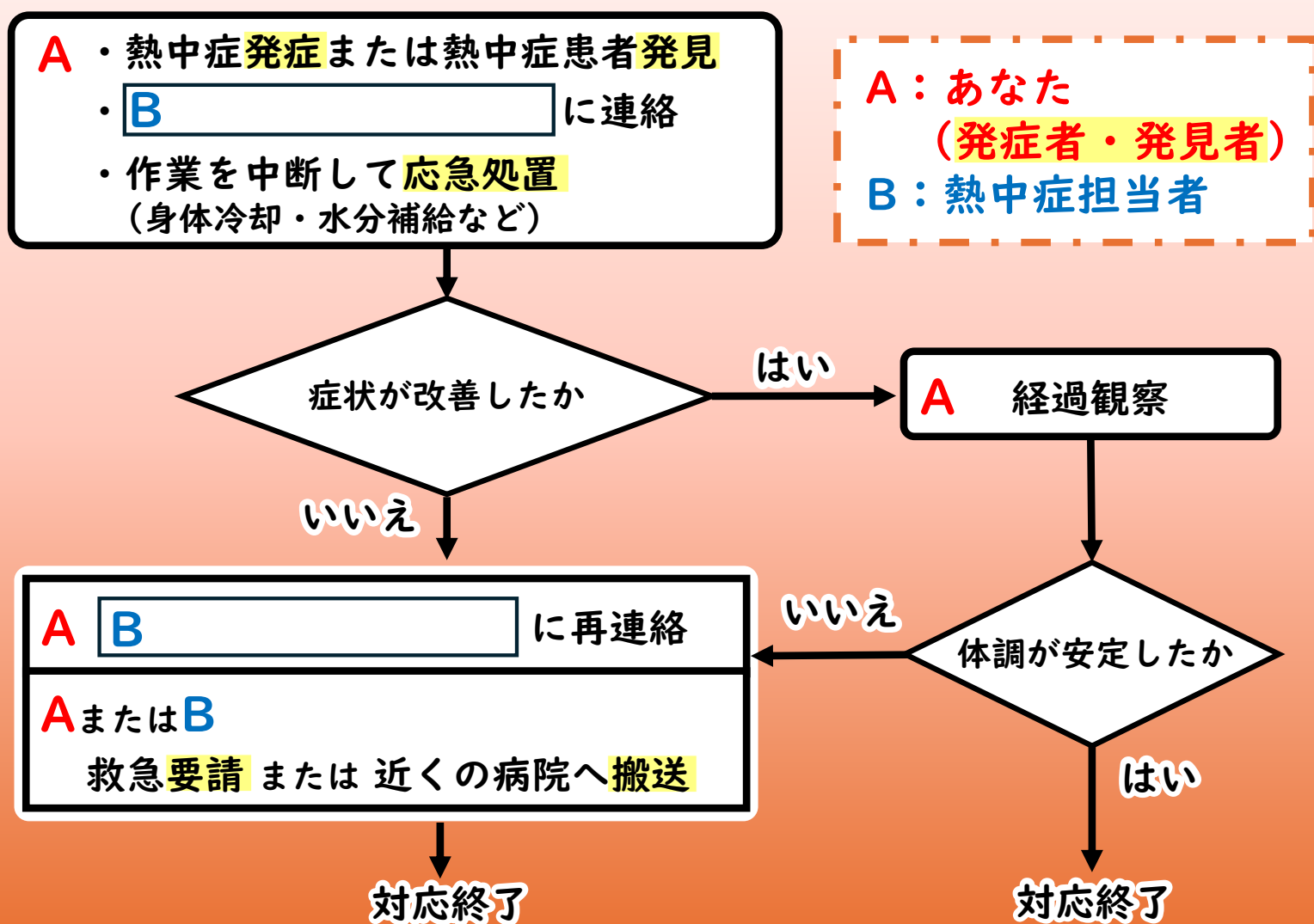


熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図



熱中症のおそれがある時の連絡体制

熱中症が疑われる主な症状例：【他覚症状】ふらつき、生あくび、失神、大量発汗、痙攣等

【自覚症状】めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温 等

① 熱中症担当者

担当者：

--

TEL :

--

- ・ **A**は**B**に連絡がつかない時は
応急処置や陸上・洋上救急要請を
優先し、事後に**B**へ連絡すること。

② 救急・近隣病院

陸上救急要請

119番

請要急救上洋

118番

近くの病院：

--

住所：

--

TEL :

**仕事が終わった後でも、体調が悪化したと感じたら、すぐに救急隊を呼んでください！
熱中症は回復後に症状が悪化する場合があります！**